



# 連携室便り

発行日：令和5年8月

取手北相馬保健医療センター

—医師会病院

医療連携室便り—

—第43号—

## 病院長ご挨拶



取手北相馬保健医療センター医師会病院  
病院長 鈴木 武樹



暮夏の候、先生におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当院へ格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

8月になりましても、新型コロナウイルス感染症の病勢収まらず、当院としても対応に苦慮しています。5類に移行してもウイルスの構造が変わるわけでもなく、実体は昨年の夏の第6波と同様かそれ以上の感染者数と思われます。感染定点定数としても茨城県は、全国平均を上回っていてさらに当地域は県内最多の状況であり、その上国や県よりの補助は切られ、対応に関しましてはまさに医療機関に丸投げされています。南4病棟の感染病床は、連日ほぼ満床で、8月上旬には東3外科病棟にクラスターが発生し12日間新規入院が停止となりました。幸い他病棟へ変更し、予定手術は、中止や延期する事なく行いダメージは最小限で済みました。しかし悲観的なことばかり嘆いていてもしかたありません。引き続き職員一同緊張感を持って対処していく所存です。

いつまでも新型コロナウイルス感染症ばかりに捕らわれているわけにもいきません。

当院の課題としては、①老朽化してきている東3病棟の問題を含めた病院の中長期計画の策定。②来年より開始される医師の働き方改革への対応。③職員の待遇改善策の検討。などが山積みです。そのためにも健全な病院経営が基本になります。各科共に医師会病院として、先生方の要望に応えられるよう努力していますので、引き続きご協力ご指導のほどよろしくお願いいたします。



## 医師の紹介



外科 消化器科

田部井 英憲 (ためがい ひでのり)

日本大学医学部卒業

診察日 火曜日・水曜日・土曜日 午前

2015年2月より勤務させていただいております。田部井 英憲 (ためがい ひでのり) と申します。

日本大学消化器外科入局し、消化器疾患の手術に従事しておりました。

診療内容は、胃癌や大腸癌などの悪性疾患から鼠径ヘルニアや、胆嚢結石症などの良性疾患に対する手術療法を主に行っております。

また、手術療法だけではなく、消化器癌に対する抗癌剤治療や炎症性疾患に対する薬物療法など、消化器疾患でお困りのことがございましたら、ご連絡いただけると幸いです。

今後も地域医療に貢献できるように頑張らせていただきます。

ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

外科 消化器科

救急医長

江原 千東 (えばら ちはる)

日本大学医学部卒業

診察日 木曜日 午前



2019年4月より勤務させて頂いております。江原 千東 (えばら ちはる) と申します。

前職は、日本大学医学部附属板橋病院消化器外科、河原町病院内科に勤務しておりました。

現在は、外科医員兼救急医長として勤務しております。

外科から内科まで幅広く勤務した経験から、救急医療を中心に、地域医療に貢献したいと考えております。

救急車受け入れ件数も少しずつですが、増えてきており、今後さらにできる限り受け入れを行い、貢献できるよう努めて参りたいと存じます。

また院内では、NST・褥瘡委員会委員長を務めさせていただいております。

救急医療において、低栄養状態の患者様が多く、フレイル・サルコペニアの観点からも重要な問題であると考えており、コメディカルとも連携を強化しながら、診療を行っております。

これからも精一杯頑張りたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。



## 医師の紹介

外科

阿部 勇人 (あべ はやと)

日本大学医学部卒業

診察日 金曜日 午前



2021年11月より外科診療全般(外来・手術・病棟管理・上部消化管内視鏡検査)を担当しております。阿部 勇人(あべ はやと)と申します。関連医療機関である日本大学消化器外科より参りました。

赴任後より、当院の特性から超高齢者様の診療機会が多くなりました。その中で特に注力していることは、認知機能やADLの低下した超高齢の患者様の消化器癌の治療方針です。高齢になればなるほど合併疾患、ADL、病気への理解度、家族背景など個人差が大きくなります。そのため、ガイドラインでは示されていない個々に応じた、手術適応や術式、抗がん剤治療の内容をご家族とも相談しながら、慎重に決めていくことが必要になります。さらに、退院後は開業医の先生方や介護施設と連携していくことが必要不可欠です。これらの診療・課題に真摯に向き合っておりますので、宜しくお願い申し上げます。



外科

林 成興 (はやし しげおき)

日本大学医学部卒業

診察日 水曜日 午前



毎週水曜日に非常勤で外科診療をしております。鈴木病院長の後輩というご縁で、もう20年以上当院に勤務させていただいております。

現在は、日本大学消化器外科に准教授として勤務し、専門は大腸肛門病です。大学では腹腔鏡大腸手術と肛門疾患を担当しております。日本外科学会および消化器外科指導医、日本大腸肛門病学会評議員、日本内視鏡技術認定医などの資格はありますが、医師会病院の外来では主に、肛門疾患の患者様を診ています。内痔核では、ジオンという切らずに治す治療法があります。適応はもちろんありますが、悩んでいるより思い切って来院してみてください。じっくり痔の本体のことや一人一人に合った治療法の説明ができますし、いまのところ待ち時間も少ないと思います!





# 紹介患者さんの診察・入院・検査依頼について

患者さまのご紹介は医療連携室へお電話ください。

お電話をいただいたその場で日程調整いたします。

## 医療連携室



受付時間 平日 8:30~17:00 土曜日 8:30~12:30

TEL 0297-78-6183 (直通)

FAX 0297-78-6184 (直通)

下記の検査をお受けしています。ぜひご利用ください。

MRI CT 腹部超音波検査 血管超音波検査 骨密度検査 乳腺X-P  
心臓超音波検査 ホルター心電図 呼吸機能検査 脳波 神経伝導速度  
胃内視鏡検査 大腸内視鏡検査  
栄養指導



## 交通アクセス



取手医師病院の理念 Heart (心・優しさ)

H - 優しさに溢れた医療 (Hospitality)

E - 迅速で効率的な医療 (Efficient)

A - 向学心に満ちた医療 (Academic)

R - 充実した地域医療 (Regional)

T - 信頼感のある医療 (Trustful)

編集：医療連携室

TEL:0297-78-6183(直通)

TEL:0297-78-6111(代表)

FAX:0297-78-6184

